



令和元年10月31日

中部地方整備局

港湾空港部

「第4回 伊勢湾の港湾ビジョン策定委員会」を開催

中部地方整備局では、2030年頃の将来を見据え、伊勢湾の港湾が果たすべき役割、今後特に推進すべき港湾政策の方向性等を伊勢湾の港湾ビジョンとしてとりまとめるため、「伊勢湾の港湾ビジョン策定委員会」を設置しております。

11月7日（木）に開催する第4回策定委員会では、「フェリー・RORO航路網など国内物流体系の構築」、「情報通信技術を活用した港湾のスマート化」、「自然災害への備え・強靱化」及び「効率的な維持管理技術の構築」について議論を行い、伊勢湾の港湾のあり方について検討します。

1. 日時・場所

日時：令和元年11月7日（木） 13:00～15:00

場所：TKP名駅桜通口カンファレンスセンター ホール3A

（名古屋市中村区名駅三丁目13番5号名古屋ダイヤビル3号館3階）

2. 出席予定者（敬称略：順不同）

名古屋大学大学院 工学研究科 水谷 法美 教授

名古屋大学大学院 環境学研究科 富田 孝史 教授

名城大学 経済学部 山本 雄吾 教授

名古屋工業大学大学院 工学研究科 秀島 栄三 教授

椋山女学園大学 現代マネジメント学部 大串 葉子 教授

新潟大学大学院 現代社会文化研究科 稲吉 晃 准教授

（一社）中部経済連合会、愛知県商工会議所連合会、

名古屋商工会議所、四日市商工会議所、名古屋港利用促進協議会、三河港振興会、

衣浦港振興会、四日市港利用促進協議会、東海港運協会、名古屋四日市国際港湾（株）、

中部国際空港（株）、愛知県、三重県、名古屋港管理組合、四日市港管理組合、中部運輸局、

第四管区海上保安本部、中部地方整備局

3. 主な議題

・PORT2030を受けた伊勢湾の役割について

①フェリー・RORO航路網など国内物流体系の構築

②情報通信技術を活用した港湾のスマート化

③自然災害への備え・強靱化

④効率的な維持管理技術の構築

・伊勢湾の港湾ビジョンの素案について

4. 取材要領

- ・会議は報道関係者に限り公開で行います。(撮影は冒頭のみ)
- ・傍聴を希望される方は、別紙-1により11月5日(火)12:00までに申し込みをお願いします。
- ・席に限りがございますので、傍聴希望者が多数の場合は先着順により傍聴者を決めさせていただきます。予めご了承ください。

5. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、名古屋港記者クラブ、豊橋市政記者会、三重県政記者クラブ、四日市市政記者クラブ、津市政記者クラブ、港湾新聞社、港湾空港タイムス、日本海事新聞社、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

6. 問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局港湾空港部
クルーズ振興・港湾物流企画室
室長 黒川 利樹也(くろかわ りきや)
課長補佐 西尾 賢二(にしお けんじ)
電話 052-209-6330(直通)、FAX 052-203-9739

国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部
クルーズ振興・港湾物流企画室 宛
FAX 番号: 052-203-9739

取材申込書

申し込み方法: 以下の欄に記入のうえ、FAXにてお申し込みください。

会社名及び部署名	会社名 : _____ 部署名 : _____
傍聴者 ※全員分の氏名及び 役職を記入願います。	代表者氏名 : _____ 役職 : _____
	同行者氏名 : _____ 役職 : _____
	同行者氏名 : _____ 役職 : _____
連絡先 ※代表者の連絡先を 記入願います。	電話番号 : _____ FAX 番号 : _____

申込締め切り : 令和元年11月5日(火) 12:00必着